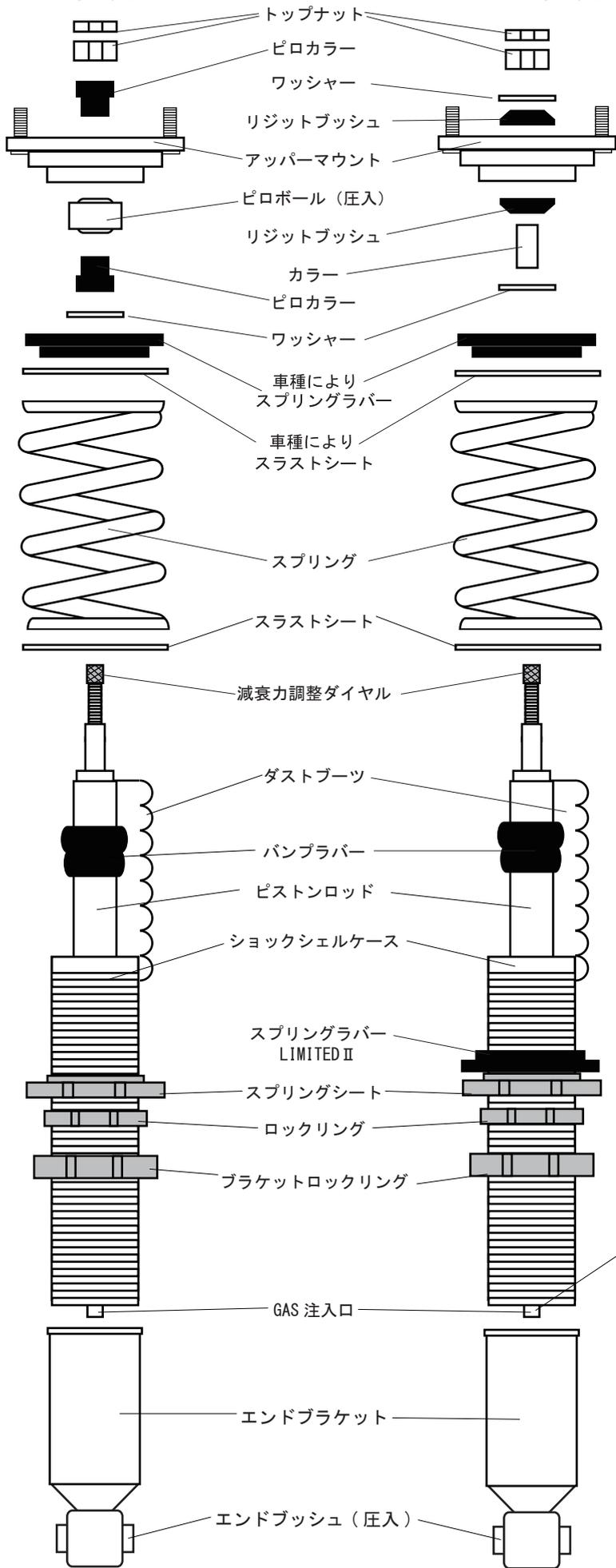


# 【マルチリンク系 車高調キット基本構造】 [31G9102]

※車種により部品が変わる事があります。(注：構造仕様は予告なく変更する場合があります)

## ピロ固定式

## リジット固定式



インパクトレンチを使用の際はトルクインパクトレンチをご使用下さい。

■トップナット：締付けトルク 約 4.5 ~ 5.0K  
締め過ぎますとショックネジ部の破損やネジ折れの原因となります。

■スタッドボルト：締付けトルク 約 3.0 ~ 5.0K  
締め過ぎますとボルトスプラインの破損やネジ折れの原因となります。

### ■減衰力調整方法

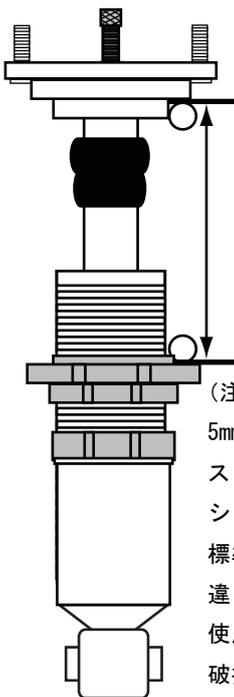
右回し(締める方向)(時計回り)=ハードになります。  
調整方法、まず右に締める方向に回し止まった位置ハードの最強位置から左回しに緩める方向へ調整して下さい。

例：ハード 20 段から 10 個戻した場合は、

19. 18. 17. 16. 15. 14. 13. 12. 11. 10 (10 段目となります)

※調整ダイヤルはソフト方向へ 1 ~ 2 ノッチ多く回った場合 (-1 ~ -2 段目) 減衰力の変化はありません。減衰力調整はあくまでもハードから戻した 20 段、25 段となります。

(注) 締め過ぎ、緩め過ぎに注意！！  
ソフト ハード ダイヤル、ショックの破損の原因になります。



■スプリングセット長  
セット長は自由長に対し 5mm のプリロードが (縮める) 基準セット長となります。  
例 200mm⇒195mm に縮めてセットする

(注) スプリングセット長は 5mm ~ 10mm までにして下さい。  
スプリングを過度に縮めて使用しますとショックの破損の原因になります。  
標準スプリング以外は使用しないで下さい。  
違う基準値や基準スプリング以外で使用した場合は保証対象外となり、破損、クレームは一切お受け致しません。

■単筒正立式ショック GAS 注入口キャップになりますので絶対に緩めたり、外したりしないで下さい。  
GAS が抜けるとショックが機能しなくなります。

■ロック、ロアの締付けトルク 6.0 ~ 8.0K  
定期的に締付けをして下さい。  
ネジ部で最低 20mm 以上入り込ませて下さい。  
(注) 20mm 以下でのご使用は絶対にしないで下さい。  
ショックからエンドブラケットが抜け落ちる事があり大変危険です。